

ゲンゴロウ

兵庫県：A

Cybister chinensis

環境省：絶滅危惧Ⅱ類(VU)

種の概要

体長34～42mm。体型は卵形で比較的扁平。背面は緑色あるいは褐色を帯びた暗褐色で強い光沢があるが、♀では弱い。頭楯、前頭両側、上唇、前胸背および上翅の側縁部は黄色～淡黄褐色。この上翅の黄色帯は肩部を除き側縁に達せず、翅端に向かって徐々に細くなる。翅端部には不明瞭な雲状紋がある。上翅には3条の点刻列を有し、♂では滑らかだが♀では翅端部を除き縮刻を密に装う。後肢ふ節には、♂♀ともに両側に遊泳毛を持つ。腹面は黄色～黄褐色で光沢が強い。ヒルムシロ、オモダカなどの水生植物の生えた池沼や放棄水田、湿地に生息する。



写真提供：市川憲平

国内分布

北海道、本州、四国、九州

県内分布記録

神戸市、尼崎市、佐用町、豊岡市、養父市、香美町、新温泉町、丹波篠山市、丹波市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○				○

特記事項

その後の調査でも新たな記録や情報に乏しい。県北部では生息地が若干残されているが、中南部地域での生息は厳しく、絶滅危惧の状況に変化はない。

保護上の留意点

池沼や湿地環境の保全